

# 交野市「財政健全化緊急プランの提言」を公表

## 緊急プランによる削減の内容



1	ゆうゆうバスの廃止 (H22～H27) 障がい者や高齢者の外出支援等に配慮しつつ廃止する	1億6,800万円
2	就学援助制度の所得基準の見直し (H22～H27) 小中学生の保護者に対する就学援助制度の所得基準は、生活保護基準を参考に持ち家と借家を区分する	5,000万円
3	生活困窮者への貸付制度の見直し (H22～H27) 貸付限度金額を30万円から20万円に減額する	90万円
4	保育所保育料の値上げ (H24～H27) 保育所保育料については、国基準の70%を目処に値上げする	4,800万円
5	障がい者の入院時に係る食事補助の廃止 (H22～H27) 障がい者の入院時に係る食事補助(1食260円)を廃止する	4,200万円
6	敬老金の廃止 (H22～H27) 77・88・99歳に1万円、100歳に2万円の敬老祝い金を廃止する(99歳の祝い品、金婚祝い品は継続)	5,740万円
7	老人福祉大会の見直し (H22～H27) H21年から運営内容(芸能人の出演取り止め)の見直し。H22年から開催場所をゆうゆうセンターへ移し、お年寄りの自主的な運営を促進する	440万円
8	ひとり親家庭医療費助成制度の見直し (H22～H27) ひとり親家庭医療費助成制度の内、市単独助成部分を廃止する	1,200万円
9	市民検診の実施方法見直しと高齢者への自己負担導入 (H22～H27) ガン検診や成人歯科検診の実施方法の見直しと現在無料の70歳以上の高齢者に一般と同等の自己負担を導入する	2,700万円
10	年未年始の救急診療の見直し (H22～H27) 受診者数を考慮しゆうゆうセンター等、市内3箇所で開催している年未年始の救急医療を見直しする	300万円
11	鍼灸補助の廃止 (H22～H27) 高齢者に対する鍼灸補助を廃止する	820万円
12	し尿汲み取り料の値上げ (H22～H27) し尿汲み取り料を見直し。併せて下水道供用開始区域における未接続世帯の収集経費は全額個人負担とする	6,340万円
13	私立幼稚園等就園補助の見直し 月額1200円の一律補助の内、市外就園児に対する補助を廃止する	780万円
14	学校給食運営補助の廃止 (H23～H27) 学校給食運営補助の内、給食食材補助を廃止する	2,850万円
15	斎場使用料補助の廃止 (H22～H27) 斎場使用料補助(12歳以下1万2千円・12歳未満6千円・死産2千円)を廃止する	3,240万円
16	民間保育所運営補助の見直し (H22～H27) 補助基準の見直しと補助限度額の設定を行う	1,800万円
17	交通専従員配置の廃止 (H23～H27) 従来の交通専従員の配置を廃止し、新たに子ども達を見守る仕組みを作る	7,100万円
18	学校警備員の廃止 (H23～H27) 平日の昼間の警備については、大阪府の補助が終了するH22年度中に機械警備を強化しH23年度から廃止する。平日の夕方や土日・祝日の警備については、学校利用者と連携を図りながら効率運営へ見直し。	5,000万円
19	学校プール開放事業の見直し (H22～H27) 夏休みの学校プール開放事業のあり方と運営方法を見直しする	880万円
20	野外活動センターの休止 (H22～H27) キャンプ場の老朽化等によりH22年度より休止する	2,290万円
21	市役所受付業務の廃止 (H24～H27) 市役所1階入り口の受付業務を廃止する(H23年度まで長期継続契約)	1,030万円
22	やわらぎ授産施設の民営化 (H24～H27) 市立知的障害者通所授産施設「やわらぎ授産所」は、H24年度を目処に民営化する	1億1,120万円
23	交野市非常勤特別職の報酬の見直し (H22～H27) 各種委員会の非常勤特別職に係る月額報酬を見直しする。併せて日額報酬の範囲を広げる	1,900万円
24	私部南多目的広場の返還 (H24～H27) 私部公園横の多目的広場については、平成24年度を目処に返還する	5,210万円
25	地域・団体・産業等への補助の抜本見直し(H23～H27) 地域等の活性化や皆で支え合う協働の仕組みを構築する中で補助制度を抜本的に見直しする	金額未定